

県政調査計画書

令和7年12月5日

神奈川県議会議員 長田 進治 殿

会派名 公明党神奈川県議会議員団
団長名 西村 くにこ

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 西村 くにこ (団 員) 鈴木 ひでし 佐々木 正行 谷口 かずふみ おだ 幸子
2 調査目的	宇宙関連産業の振興に積極的に取り組まれている鹿児島県を訪問し、宇宙関連事業や宇宙産業の可能性、宇宙分野における最先端の取組などを調査し、本県における宇宙関連施策の参考とする。また、バイオマス発電の取組やエネルギーの課題について調査し、本県における脱炭素施策及び循環型社会施策の参考とする。
3 調査期間	令和8年3月26日 ～ 令和8年3月28日
4 調査地	鹿児島県
5 調査項目	(1) 鹿児島県庁 県内に2か所のロケット発射場を有し、宇宙関連産業の振興に積極的に取り組まれている鹿児島県を訪問し、県として行っている宇宙関連事業や産学官連携による宇宙関連産業促進の取組について調査し、本県における宇宙関連施策の参考とする。 (2) 株式会社リリー 鹿児島県に本社を置き、衛星データを活用して漁業や林業など一次産業の現場に役立つ技術を提供している本企業を訪問し、宇宙産業の可能性及び宇宙産業がもたらす地域への影響について調査し、本県における宇宙関連施策の参考とする。



	(3) 新光糖業株式会社 本企業は、サトウキビの圧搾工程から出るバガス（搾りかす）を用いたバイオマス発電により工場内のすべての電力を賄っており、また、製造工程から生成する副産物を堆肥原材料や飼料等として再利用するなど、環境保全に貢献するための様々な活動に積極的に取り組んでいる。 そこで、これらの取組を調査し、本県における脱炭素施策及び循環型社会施策の参考とする。 (4) 新種子島発電所 太陽光発電の日中の出力増加と種子島内の電力需要に合わせ、出力変動に対応しながら種子島の電源を支える本発電所を訪問し、調整電源の役割を担う発電所が抱える課題や再生可能エネルギーとの関係について調査し、本県における脱炭素施策及び循環型社会施策の参考とする。 (5) 種子島宇宙センター 日本の宇宙開発において人工衛星打ち上げの中心的役割を果たしてきた本センターを訪問し、宇宙分野における最先端の取組について調査し、本県における宇宙関連施策の参考とする。
6 経費の概算額	1人当たりの議員旅費 … 237,519 円 内訳 交 通 費 … 199,319 円 宿 泊 費 … 38,200 円

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関等	調査箇所及び調査内容
1	3/26 (木)	鹿児島県	午前	飛行機	移動(羽田空港→鹿児島空港)
			午後	車両	●視察1「鹿児島県庁」 ・宇宙関連事業及び産学官連携による宇宙関連産業促進の取組 ●視察2「株式会社リリー」 ・衛星データを活用した一次産業支援 ＜鹿児島市内泊＞
2	3/27 (金)	鹿児島県	午前	飛行機	移動(鹿児島空港→種子島空港)
			午後	車両	●視察3「新光糖業株式会社」 ・サトウキビの搾りかすを用いたバイオマス発電 ●視察4「新種子島発電所」 ・太陽光発電の出力変動に対応しながら島内の電源を支える発電所の取組 ＜西之表市内泊＞
3	3/28 (土)	鹿児島県	午前	車両	●視察5「種子島宇宙センター」 ・宇宙分野における最先端の取組
			午後	飛行機	移動(種子島空港→鹿児島空港→羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 西村 くにこ (団 員) 鈴木 ひでし 佐々木 正行 谷口 かずふみ おだ 幸子
---------	---

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 237,519 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	2 泊 3 日の行程の中で、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	(1) 鹿児島県庁 宇宙関連産業の振興に積極的に取り組まれている鹿児島県を訪問し、県として行っている宇宙関連事業や産学官連携による宇宙関連産業促進の取組について調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (2) 株式会社リリー 衛星データを活用して漁業や林業など一次産業の現場に役立つ技術を提供している本企業を訪問し、宇宙産業の可能性及び宇宙産業がもたらす地域への影響について調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (3) 新光糖業株式会社 サトウキビの圧搾工程から出るバガス(搾りかす)を用いたバイオマス発電や、製造工程から生成する副産物を堆肥原材料や飼料等として再利用するなど環境保全に貢献するための様々な活動に積極的に取り組んでいる本企業の取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。

	(4) 新種子島発電所 太陽光発電の日中の出力増加と種子島内の電力需要に合わせ、出力変動に対応しながら種子島の電源を支える本発電所を訪問し、調整電源の役割を担う発電所が抱える課題や再生可能エネルギーとの関係について調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (5) 種子島宇宙センター 日本の宇宙開発において人工衛星打ち上げの中心的役割を果たしてきた本センターを訪問し、宇宙分野における最先端の取組について調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	今回の調査対象項目は、いずれも本県の課題と共通するものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは、時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	各分野において、今後の本県における施策に活用していくためには、現地に赴き、担当職員等から具体的かつ詳細に調査及び聴取しなければ調査目的を達成することができないものである。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当なものである。